



はは歯クラブだより



NO.204

長崎市鳴見台小学校
学校歯科医 行成 哲弘

こんにちは！
 医療法人
ゆきなり小児・矯正歯科です。
11月26日に秋の歯科健診を実施しました。
私たちが4・5・6年生を担当しました。

お口の中の状況は両極端です。歯垢もなく歯ぐきも引き締まったお子さんも多く見受けられましたが、何時歯をみがいたかわからないような歯肉炎のお子さんも多々見受けられました。歯みがきの習慣がついているお子さんは少しの汚れでも気持ち悪く感じ、すぐに歯みがきをしようとします。

歯みがきの習慣がないお子さんは、どんなに汚れていようが何とも思いません。汚れ（歯垢）が付いたままでは歯ぐきも腫れてきてちょっとした刺激（歯みがき）で出血します。血が出るからしっかりと歯みがきをしないとなり、ますます歯ぐきが腫れてきます。そうなると歯周病（歯槽膿漏）の予備軍、歯肉炎となります。お子さんの健診結果を見てください、歯肉炎に印が付いていませんか。



歯並びに問題が見受けられるお子さん多く見受けられました。特に叢生（そうせい）俗に八重歯、乱杭歯などと呼ばれ歯の大きさと顎の幅の大きさに不釣り合いがあるものや、永久歯が生える方向が悪くかみ合っていない場合などがあります。適切な時期に治療することにより不正咬合の程度がひどくならない場合もあります。かみ合わせに問題がある場合には専門医に相談される方が良いでしょう。複数の専門医に相談することも良いことです。治療方法は様々ありますのでご自身にあった方法を選択することができます。

インフルエンザ、コロナウィルス感染症に負けない歯と口の健康づくりのためにも、歯みがきは大事です。

詳しくは、ホームページをご覧下さい。
「ゆきなり歯科」で検索すると簡単です。
<日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘>